



平成17年6月期 第3四半期財務・業績の概況（連結） 及び平成17年6月期（連結）業績予想の修正のお知らせ

平成17年4月27日

会社名 SBIパートナーズ株式会社

(JASDAQ コード番号 : 9653)

(URL <http://www.sbi-pts.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役

氏名 相原 志保

問い合わせ先 責任者役職名 取締役

氏名 西本 圭吾

TEL : (03) 6229-0155

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 無
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 無

連結（新規）1社 （除外）1社 持分法（新規）1社 （除外）社

2. 平成17年6月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年7月1日～平成17年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切り捨て）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期（当期） 純利益 |
|-------------|----------------|------|------|----------------|
| | 百万円 % | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 17年6月期第3四半期 | 11,343 (119.8) | 555 | 487 | 291 |
| 16年6月期第3四半期 | 5,161 | | | |
| (参考)16年6月期 | 7,144 | 402 | 283 | 105 |

| | 1株当たり四半期 （当期）純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益 |
|-------------|---------------------|--------------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 17年6月期第3四半期 | 15 10 | 14 88 |
| 16年6月期第3四半期 | | |
| (参考)16年6月期 | 9 35 | 9 18 |

- (注) 1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
2. 前年同四半期は売上高のみの開示であるため営業利益、経常利益、四半期純利益、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。
3. 平成17年4月1日をもちまして、10株を1株にする株式併合をいたしました。平成17年6月期第3四半期及び平成16年6月期の1株あたり当期純利益及び潜在株式調整後の1株あたり当期純利益の算定につきましては株式併合が期首に行われたものとして算出しております。なお、平成17年6月期第3四半期の1株あたり当期純利益及び潜在株式調整後の1株あたり当期純利益の算定につきましては、平成17年4月11日払込期日の第三者割当増資（1,000,000株）による発行済株式総数の増加を考慮しております。
4. 数値は監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループ（当社及び連結子会社）は、当該第3四半期（平成17年1月1日～平成17年3月31日）において、抜本的な事業の再編及び新事業の拡大を引き続き積極的に推進してまいりました。

当社におきましては、当連結会計期間より新たに立ち上げました不動産関連事業（不動産投資事業、不動産開発事業、不動産ファンド事業、不動産コンサルティング事業）及び投資関連（M&A）事業のコアビジネスを早期に成長させるべく、各分野において事業基盤づくりを着実に行ってまいりました。一方では、会社設立当初より主たる事業として行ってきた就職関連事業が、長期に渡り不採算事業となっておりましたため、これ以上の事業継続は困難であると判断し、当該事業に属する「就職情報提供事業分野」（一般企業向け就職情報提供事業及び一般企業向け人材紹介事業）を平成17年1月末をもって事業休止しました。また、当該事業に属する「医療情報提供事業分野」（医療情報提供事業及び看護師の人材紹介・人材派遣事業）を、平成17年4月に簡易会社分割により承継会社に事業承継し、加えて当該会社分割により取得した承継会社株式を全株譲渡することにより、当社は就職関連事業から全面撤退いたしました。これによりまして、当社は不動産関連事業を主軸としたビジネスに事業転換を果たしております。

また、当社グループにおきましては、住宅関連事業を営む子会社エスピーアイ・ホームプランナー株式会社を、平成17年1月に簡易株式交換により完全子会社化し、グループの中核企業として当社単体の不動産関連事業との有機的な事業連携の強化を図っております。加えて、不動産ファンド事業及び投資関連（M&A）事業の強化に向けて、平成17年3月にパートナーズ・インベストメント株式会社（旧ティトゥス・インベストメント株式会社）を完全子会社化いたしました。一方、当社グループ事業の方向性を鑑み、事業の選択と集中によるグループ運営を行うべく、平成17年3月に美容健康事業等を営んでおります当社孫会社の株式会社フォリアルの全株式を譲渡いたしました。

財務面におきましては、平成16年12月の第三者割当による増資（45億円）に引き続き、平成17年4月に第三者割当による増資（24.6億円）を実施し、これにより不動産関連事業の事業投資資金の確保と資本の充実を図っております。

また、当社株式につきまして、平成17年4月1日より、10株を1株に無償併合し、1単元の株式数を1,000株から100株に変更いたしております。

このような一連の大きな事業転換を行うに際し、企業イメージを一新し、一企業群として今後大きく成長・発展することを期して、平成17年4月1日より商号を「SBIパートナーズ株式会社」に変更いたしております。そして、「不動産・金融・IT（情報技術）の融合」を目指した、新しい事業領域の創造と育成を担う「不動産業界のイノベーター」として、多様な不動産関連ビジネスに取り組んでいくことにより、企業価値の増大を図ってまいりたいと考えております。

これらの結果、当該第3四半期まで期間（平成16年7月1日～平成17年3月31日）における売上高は、新事業である不動産関連事業の早期立ち上げ、エスピーアイ・ホームプランナー（株）の連結子会社化、ホメオスタイル社によるティーケーインターナショナル（株）との合併等により、11,343百万円（前年同期5,161百万円）となりました。営業利益は、就職関連事業の損失計上はありましたが、当連結会計期間に立ち上げました当社不動産関連事業、及びエスピーアイ・ホームプランナー（株）の収益寄与により、555百万円となりました。経常利益につきましても、主に、営業利益の増益により、487百万円となりました。また、当期純利益は291百万円となりました。特別利益として、ホメオスタイル（株）の株式売却益を含む関係会社株式売却益2,369百万円など、計2,413百万円を計上し、特別損失として、本社の土地・建物の処分に伴う固定資産売却損2,050百万円など、計2,324百万円を計上しました。

（注）前年同四半期においては、連結売上高のみを開示しており、当該項目以外につきましては、比較値を記載しておりません。

不動産関連事業

当連結会計期間より、新たな事業として不動産関連4事業(不動産投資事業、不動産開発事業、不動産ファンド事業、不動産コンサルティング事業)を立ち上げており、潜在価値の高いバリューアップが期待される不動産物件への戦略的なプリンシパル投資やディベロップメント、不動産ファンドの組成・運営、並びに不動産に関する様々なソリューションの提供等を積極的に展開してまいります。当該事業の収益構造を早期に確立させ、当社グループの成長を牽引するキー・センターとして機能させていきたいと考えております。

当該第3四半期においては、各分野において事業基盤づくりを着実に進行し、特に不動産投資事業における物件売却が収益に寄与した結果、第3四半期までの不動産関連事業の売上高は873百万円、営業利益は591百万円となりました。

住宅関連事業

住宅関連事業は、平成16年10月にエスピーアイ・ホームプランナー(株)の株式取得による子会社化により、新たな事業セグメントとして設けております。当該事業において、同社では、賃貸マンション等の設計施工及び不動産取引等に関するコンサルティング事業等を積極的に展開しており、土地所有者に対し有効な不動産活用を提案し、建築資金の調達支援、ローコストによる施工、家賃管理サービス等を提供し、一方では、入居者に対しリーズナブルで高品質な生活空間の提供を行っております。また、同社完全子会社(当社孫会社)であり同社施工の賃貸マンションに関する建築資金の融資や不動産管理(サブリース)、不動産関連投資事業を営むエスピーアイ・ホームローン(株)、及び同じく同社完全子会社(当社孫会社)でインターネットを利用した個人向け投資用・居住用不動産の仲介及びコンサルティングを営むエスエフ・リアルティ(株)、他2社(ウイテリウス(株)、(有)アルファプラン)も合わせて連結子会社となっております。さらに、エスピーアイ・ホームプランナー(株)との連携を強化するため、平成17年1月に簡易株式交換により同社を完全子会社化しております。

住宅関連事業は、昨年10月から6ヶ月の連結期間でありましたが、ファイナンシャル・アドバイザー契約等の不動産コンサルティング事業が好調で、収益に大きく寄与したことにより、売上高は3,950百万円、営業利益は369百万円となりました。

美容健康事業

美容健康事業は、連結子会社ホメオスタイル(株)及びその子会社(当社孫会社)であります(株)フォリアルにて展開しており、美容機器、化粧品、美容健康食品等の企画製造・販売並びに付随サービスを、全国43店舗(加盟店10店舗含む)及びインターネットを通じて行っております。ホメオスタイル(株)においては、会員制システムを導入しており、美容機器、化粧品及び美容健康食品等の美を追求した特長ある商品群を販売し、店舗において美容機器を使ったフェイシャルケア及びボディケア等のサービスを行っております。

ホメオスタイル(株)では、当該第3四半期において、高機能飲料水の新規投入等、美容健康食品の強化を推進してまいりました。また、会員規模の拡大が今後の継続的成長の基盤となるため、平成16年4月より新入会制度を発足させ会員数の増大を図っており、当該期間(平成16年7月~平成17年3月)における入会者数が、前年同期比で98%増と大幅な伸びを示し順調に推移しております。しかしながら、第1四半期において主力商品である美容機器の販売が想定を下回り、第2四半期以降は順調に推移したものの第1四半期の未達分を吸収しきれなかったこと、また、第3四半期において(株)フォリアル収益が落ち込んだこと等により、当初の業績見込みを下回る形となりました。なお(株)フォリアルについては、当社グループ事業の方向性を鑑み、事業の選択と集中によるグループ運営を行うべく、平成17年3月に同社の全株式を譲渡いたしました。

この結果、美容健康事業の売上高は1,771百万円、営業損失は2百万円となりました。

服飾品販売事業

服飾品販売事業は、連結子会社のホメオスタイル(株)にて展開しており、女性向け高級衣料品及び宝飾品の催事販売事業を行っております。当該事業は、会員制システムのメンバーに対し、自社オリジナルデザインによる輸入ファッション衣料及びジュエリー等の宝飾品を、店舗における催事販売形式にて商品提供しております。そして、平成16年11月には、ティーケーインターナショナル(株)との合併により、新たな収益の柱として、中国縫製工場での紳士ビジネススーツを中心としたアパレル製品の製造・輸入販売を行うアパレル事業、及び欧州メーカーからの既製服、服装飾品の輸入販売を行うインポート事業が加わっております。

当該第3四半期において、2005年春夏コレクション「Classics with a new cool attitude」(新しいクールさをもったクラシック)をテーマに、全国店舗において催事販売会を行い、業績の改善には寄与しましたが、第3四半期までの業績面では、当中間期において、衣料品在庫の評価替えの実施、及びティーケーインターナショナル(株)の連結取り込みに伴ない発生した連結調整勘定の償却負担の発生が、主たる収益の押し下げ要因となりました。

この結果、服飾品販売事業の売上高は3,793百万円、営業損失は60百万円となりました。

就職関連事業

当連結会計期間より、従来の事業区分でありました「就職情報提供事業」及び「医療情報提供事業」並びに「その他事業」内の人材紹介事業を統合して「就職関連事業」としております。

「就職情報提供事業分野」(一般企業向け就職情報提供事業及び一般企業向け人材紹介事業)は、長期に渡り不採算事業となっておりましたため、これ以上の事業継続は困難であると判断し、平成17年1月に事業を休止いたしました。

また、就職情報提供事業分野の事業休止にとともに、「医療情報提供事業分野」(医療情報提供事業及び看護師の人材紹介・人材派遣事業)につきましても、平成17年4月に簡易会社分割により承継会社に事業承継し、加えて当該会社分割により取得した承継会社株式を全株譲渡いたしました。これらによりまして、当社は就職関連事業から全面撤退いたしました。

この結果、就職関連事業の売上高は698百万円、営業損失は395百万円となりました。

その他事業

その他事業といたしましては、エスピーアイ・プロモ(株)におけるオンライン広告事業や販売促進のためのコンサルティング事業、販売代理業、及び(株)フォリアルにおけるインターネット情報サービス提供事業やWEB構築事業を行っており、当該四半期における売上高は267百万円、営業利益53百万円となりました。

(注) 前年同四半期において、セグメント情報を開示しておりませんので、比較値は記載しておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切り捨て)

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|-------------|--------|--------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 17年6月期第3四半期 | 29,679 | 15,880 | 53.5 | 661.24 |
| 16年6月期第3四半期 | | | | |
| (参考)16年6月期 | 7,395 | 2,643 | 35.7 | 220.01 |

(注) 1. 前年同四半期は、連結貸借対照表を作成しておりませんでしたので財政状態の各項目を記載しておりません。

2. 平成17年4月1日をもちまして、当社普通株式10株を1株にする株式併合をいたしました。平成17年6月期第3四半期及び平成16年6月期の1株あたり株主資本の算定に

つきましては株式併合が期首に行われたものとして算出しております。なお、平成 17 年 6 月期第 3 四半期の 1 株あたり株主資本の算定につきましては、平成 17 年 4 月 11 日払込期日の第三者割当増資（1,000,000 株）による発行済株式総数の増加を考慮しております。

3. 数値は監査法人による監査を受けておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

第 3 四半期における総資産は、29,679 百万円となり、前期末に比べて 22,284 百万円の増加となりました。これは、主に第三者割当による増資（45 億円）に加え、エスピーアイ・ホームプランナー株式会社 及び パートナーズ・インベストメント株式会社を新規に連結子会社化したこと等によるものであります。株主資本は、15,880 百万円となり、前期末に比べて 13,237 百万円の増加となりました。これは、転換社債型新株予約権付社債の株式転換、第三者割当による増資等に伴う資本の充実によるものであります。

3. 平成 17 年 6 月期の連結業績予想（平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）の修正
連結業績予想（単位：百万円）

| | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|-------------------------|--------------------|--------------|--------------|
| 前 回 予 想 (A) | 1 4 , 5 0 0 | 6 5 0 | 7 0 0 |
| 今 回 修 正 (B) | 1 4 , 6 0 0 | 7 0 0 | 7 5 0 |
| 増 減 額 (B - A) | 1 0 0 | 5 0 | 5 0 |
| 増 減 率 | 0 . 7 % | 7 . 7 % | 7 . 1 % |
| (ご参考) 平成 16 年 6 月期実績 | 7 , 1 4 4 | 2 8 3 | 1 0 5 |
| 前 期 比 増 減 率 | 1 0 4 . 4 % | 1 4 7 . 3 % | 6 1 4 . 3 % |

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 3 1 円 2 3 銭

上記の 1 株当たり予想当期純利益については、平成 17 年 4 月 1 日に効力発生
の 10 株を 1 株にする株式併合、及び平成 17 年 4 月 11 日払込期日の第三者割当
増資（1,000,000 株）による発行済株式総数の増加を考慮しております。

[業績予想に関する定性情報等]

当期（平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）の連結業績予想につきましては、当該第 3 四半期における業績が、予想を上回って好調に推移いたしましたので、平成 17 年 4 月 1 日付、「平成 17 年 6 月期通期（連結・単独）業績予想の修正のお知らせ」にて発表しております
連結業績予想についても、上記のとおり業績予想の修正をいたします。なお、平成 17 年 6 月
期通期（単独）の業績予想につきましては、変更ございません。

(注)業績予想については、当社が発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢や見
通しに内在する不確定要因・潜在的リスク等によって、実際の業績は記載の業績予想と異なる場合があります。

添付資料

- 1 .(要約) 四半期連結貸借対照表
- 2 .(要約) 四半期連結損益計算書
- 3 .(要約) セグメント情報

〔添付資料〕

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| 科 目 | 当四半期 (平成17年6月期 第3四半期末) | (参考) 平成16年6月期 |
|-----------------|------------------------------|------------------|
| | 金 額 | 金 額 |
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,938,441 | 1,244,183 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,683,899 | 757,150 |
| 完成工事未収入金 | 269,433 | |
| 販売用不動産 | 1,023,573 | |
| 未成工事支出金 | 588,422 | |
| 営業出資金 | 5,505,000 | |
| 営業投資有価証券 | 989,882 | |
| その他のたな卸資産 | 720,437 | 434,434 |
| 短期貸付金 | 900,000 | |
| その他流動資産 | 598,955 | 285,012 |
| 貸倒引当金 | 35,860 | 27,952 |
| 流動資産合計 | 21,182,182 | 2,692,827 |
| 固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 580,558 | 1,099,260 |
| 土地 | 129,000 | 2,570,000 |
| その他有形固定資産 | 211,535 | 162,882 |
| ソフトウェア | 236,437 | 345,355 |
| 連結調整勘定 | 5,663,168 | |
| その他無形固定資産 | 29,533 | 26,262 |
| 投資有価証券 | 1,202,842 | 85,851 |
| 破産更生債権等 | | 809,454 |
| その他投資等 | 444,474 | 412,889 |
| 貸倒引当金 | | 809,569 |
| 固定資産合計 | 8,497,547 | 4,702,384 |
| 資産合計 | 29,679,729 | 7,395,211 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 708,519 | 384,445 |
| 工事未払金 | 785,629 | |
| 短期借入金 | 1,740,000 | 100,000 |
| 未成工事受入金 | 583,813 | |
| 一年以内償還予定社債 | | 2,000,000 |
| その他流動負債 | 648,776 | 421,092 |
| 流動負債合計 | 4,466,737 | 2,905,537 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 8,100,000 | |
| 長期未払金 | 449 | 1,481,065 |
| その他固定負債 | 286,266 | 179,227 |
| 固定負債合計 | 8,386,715 | 1,660,292 |
| 負債合計 | 12,853,452 | 4,565,829 |
| (少数株主持分) | | |
| 少数株主持分 | 945,446 | 186,038 |
| (資本の部) | | |
| 資本金 | 4,338,661 | 1,008,510 |
| 資本剰余金 | 10,950,660 | 1,540,718 |
| 利益剰余金 | 627,663 | 139,545 |
| その他有価証券評価差額金 | 15,133 | |
| 自己株式 | 51,286 | 45,429 |
| 資本合計 | 15,880,831 | 2,643,344 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 29,679,729 | 7,395,211 |

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 当四半期 (平成17年6月期 第3四半期) | (参考) 平成16年6月期 |
|------------------|-----------------------------|------------------|
| | 金 額 | 金 額 |
| 売上高 | 11,343,675 | 7,144,790 |
| 売上原価 | 7,358,628 | 2,975,516 |
| 売上総利益 | 3,985,047 | 4,169,274 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,429,159 | 3,767,074 |
| 営業利益 | 555,888 | 402,200 |
| 営業外収益 | 68,496 | 88,509 |
| 受取利息 | 6,078 | 547 |
| 不動産賃貸料収入 | 31,809 | 46,054 |
| その他 | 30,609 | 41,908 |
| 営業外費用 | 136,921 | 206,955 |
| 支払利息 | 67,691 | 137,264 |
| 社債利息 | 1,051 | 38,136 |
| 新株発行費償却 | 41,261 | |
| その他 | 26,918 | 31,555 |
| 経常利益 | 487,463 | 283,754 |
| 特別利益 | 2,413,107 | 211,312 |
| 貸倒引当金戻入益 | 1,798 | 147,327 |
| 固定資産売却益 | | 29,990 |
| 関係会社株式売却益 | 2,369,412 | |
| その他 | 41,897 | 33,995 |
| 特別損失 | 2,324,252 | 333,254 |
| 固定資産売却損 | 2,050,370 | 4,918 |
| 固定資産除却損 | 11,648 | 71,329 |
| その他 | 262,234 | 257,007 |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益 | 576,318 | 161,812 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 129,564 | 52,988 |
| 法人税等調整額 | 2,353 | 727 |
| 少数株主利益 | 157,897 | 4,224 |
| 四半期(当期)純利益 | 291,210 | 105,327 |

3.(要約)セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期(平成16年7月1日~平成17年3月31日)

(単位:千円)

| | 不動産 関連事業 | 住宅 関連事業 | 美容健康 事業 | 服飾品 販売事業 | 就職関連 事業 | その他 事業 | 消去 又は全社 | 計 |
|------------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|-----------|------------|------------|
| 売上高 | 873,145 | 3,950,676 | 1,771,683 | 3,793,225 | 698,831 | 267,016 | 10,901 | 11,343,675 |
| 営業費用 | 282,071 | 3,581,305 | 1,774,558 | 3,853,410 | 1,094,304 | 213,040 | 10,901 | 10,787,787 |
| 営業利益(又は 営業損失) | 591,074 | 369,371 | 2,875 | 60,185 | 395,473 | 53,976 | | 555,888 |

(注)1. 事業区分の方法

事業は、製品及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

不動産関連事業・・・不動産投資事業、不動産開発事業、不動産ファンド事業、不動産コンサルティング事業他

住宅関連事業・・・建築工事業、不動産の取引及びファイナンシャルプランニングに関するコンサルタント業、建築物の設計・監理業務他

美容健康事業・・・美容機器・化粧品・健康食品販売、美容関連サービス他

服飾品販売事業・・・衣料品の製造及び販売、宝飾品販売

就職関連事業・・・新卒就職情報サイト、転職情報サイト、採用個別制作品、看護師向け書籍・雑誌出版販売、看護師向け情報サイト、人材紹介他

その他事業・・・オンライン広告事業、販売促進コンサルティング、インターネット情報サイト運営他

3. 当連結会計期間より、新たに「不動産関連事業」「住宅関連事業」を追加しておりますが、これは新規事業の開始及び連結子会社の増加によるものであり、事業区分の変更ではありません。

4. 当連結会計期間より、「就職情報提供事業」、「医療情報提供事業」の区分を統合し、「就職関連事業」としてありますが、これは連結子会社の増加により、連結売上高に占める当該事業の割合が低下することが見込まれるため、グループ内の事業の区分の見直しを行ったことによるものであります。

また、この見直しにより、従来「その他事業」に属していた人材紹介事業も「就職関連事業」に含めて表示しております。